

令和4年産米の需要に応じた生産・販売にかかる地域農業再生 協議会説明会開催のお知らせ

令和3年11月19日開催された食糧部会において、令和4年産主食用米生産量は675万トとされ、令和3年産米に引き続き▲26万ト程度の削減が必要となり、福島県においても令和3年産実績対比▲2,100haの主食用米の削減目標を掲げています。

引き続き需要減少やコロナ禍により、今後の需要動向は依然不透明であり、令和4年産米においても需要に応じた生産・販売に確実に取り組まなければ、更なる米価下落と民間在庫の拡大が続くこととなります。

この環境は当面継続することが想定されますが、福島県の水田農業の将来を見通した場合、飼料用米を中心とする転換促進の取り組みから水稻であれば加工用米・輸出用米、水稻以外であれば麦・大豆、園芸作物等高収益作物への転換の道筋を切り拓いていく必要があります。このため、令和4年産米の地域農業再生協議会ごとの生産数量の目安（面積）の設定とあわせ、「水田リノベーション事業」等も活用した令和4年産米の取り組みの基本的な考え方等を説明することを目的とし、説明会を下記のとおり開催いたします。

記

1. 日 時：令和3年12月13日（月） 13：30～
2. 場 所：パルセいいざかコンベンションホール
（福島市飯坂町字筑前27番地の1）
3. 主 催：福島県水田農業産地づくり対策等推進会議
4. 内 容：
 - （1）水田農業をめぐる情勢について
 - （2）令和4年産米にかかる地域農業再生協議会別生産数量の目安（面積）等について
 - （3）「水田リノベーション事業」の取り組みについて
 - （4）令和4年産米の地域の合理的な単収の設定について
 - （5）その他
5. 参集範囲

地域農業再生協議会、方針作成者・集荷業者、東北農政局福島県拠点、県農林事務所、福島県水田農業産地づくり対策等推進会議構成員（150名程度）

【お問い合わせ先】

福島県水田農業産地づくり対策等推進会議事務局（福島県農林水産部水田畑作課）
主幹兼副課長 遠藤 崇寛 電話 024-521-7359（内線3201）